

折りたたみ車いす用アダプターバー取付け方法

ご注意:固定車に関しては別紙の車軸クランプ取付説明書ご参照ください。

Youtubeで取り付け方をご紹介しています https://www.youtube.com/watch?v=EpD-kNUVuQw



折りたたみ車いすアダプターの設定

折りたたみ車いす専用の長さ調整式アダプターは、車椅子のアクスル先端部に取り付けられ、ドライブユニットの簡単な取り付け/取り外しを可能にします。(アクスルが埋込式又はアクセス不可の場合は、なるベくアクスルに近いボルトヘッドに取り付けてください。)

まず最初に、アダプター取付金具が車いすの後輪サイズに対応しているかを確認します。取付金具のサイズは底面に記載されており、24"25"26"のいずれかです (図A)。車椅子後輪のタイヤサイズに対応する取付金具は、下の表を参照してください。

タイヤサイズ	選択クランプ
22"(501) ホイール/タイヤ	24 の取付金具を使用
24"(540) ホイール/タイヤ	24 の取付金具を使用
25"(559) ホイール/タイヤ	25 の取付金具を使用
26"(590) ホイール/タイヤ	26 の取付金具を使用



次に、アダプターバーを車いすの幅に合わせて調節します。エンドチューブの位置を決めてネジを緩め[完全に取り外さない]アダプター取付金具のシャフトに沿ってバーがスライドするようにします (図 B)下の表は、折りたたみ式車いすの座幅とエンドチューブの対応を示します。

インサートをとりつけるなどでエンドチューブの位置が変わるので、実際に取り付けてご確認ください。

エンドチューブ	車軸間(固定するボルトのヘッド間)
ナロー[MX2-4FN]	203mm~316mm
レギュラー[MX2-4FR]	317mm~430mm
ワイド[MX2-4FW]	431mm~546mm

図. B



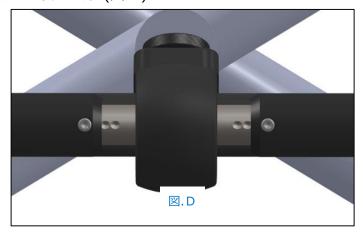
ご注意:

着脱容易な車軸先端部が埋込式、あるいはアクセス不可の場合は、作業を続ける前に、付属のインサートと説明書を使い、車いすの別の個所にはめ込んでください。

車いすの後方から見て、"T"バーが向こう側(車いすの前側)にあり、エンドチューブの白いラインが後方から見えるようにして、アダプターバーを持ちます。エンドキャップの一方をアクスル先端の一つに被せ、もう片方の端をスライドさせながら反対側の車軸先端に被せます。このとき、アダプター取付金具を動かして、中央に来るようにします(図 C)。

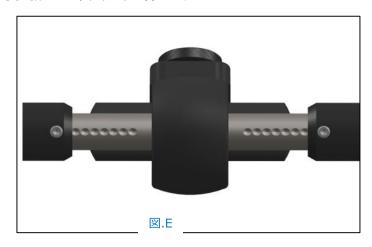


アダプター取付金具の上に見えるくぼみの数に注意します。 両側とも同じ数でなければなりません (図 D)



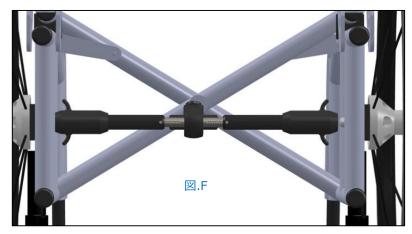
アダプターバーを取り外して分解し、調節バーを外側に動かしながら、先に確認したしたのと同じ数のくぼみがみえるようにします。その後、エンドキャップにスプリングが取り付けられていることを考慮して、さらにくぼみ5つ分動かします [即ち、見えている2つのくぼみを計算に入れて、全部でくぼみが7つみえるように調節バーを動かします] (図 E)

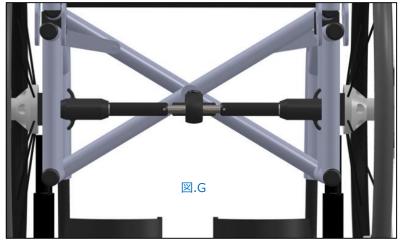
位置決めネジを正しいくぼみに配置して、正しい数のくぼみが両側に出ていることを確認してから、セットボルトを締めます。





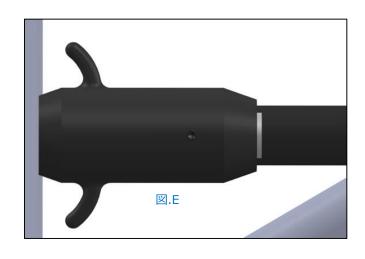
車いすの仕様を変更した場合、アダプターバーの取付け角度が変わり、走行に影響を与える可能性があります。 車いすの仕様を変更した場合は必ずクランプも調整してください。 次に、調節バーを、再度"T"バーが向こう側にくるようにして、車いすに取付けます。 一方のエンドキャップを車軸の先端に被せます。もう片方のエンドキャップをつかみ、 バー内部のエンドキャップのスプリングを圧縮し (図 F)反対側の車軸先端に被せ ます (図 G)





正しく設定されると、エンドキャップの内側の端が白いラインの内側にきます。 この状態であれば、アダプターバーが適切な力で突っ張った状態であることを示しています。

(図 H)



※エンドチューブが白いラインの上になっていると他の2本の位置決めネジを[各側のネジの一つはくぼみにはまりません]締めてエンドチューブを固定します。



車いすの仕様を変更した場合、アダプターバーの取付け角度が変わり、走行に影響を与える可能性があります。 車いすの仕様を変更した場合は必ずクランプも調整してください。

ドライブユニット /折りたたみ車いすアダプターの取付け

設定完了後に、駆動ユニットのアダプターバーへの取付が必要です。ドライブユニットは、車いすへ据え付ける前に、あらかじめアダプターバーに取付けなければなりません。

1. ゴムのストッパーをドライブユニットの割れ目に滑り込ませます(図 I)



2. ドライブユニットを取付け突起部に沿って下に動かし(図 J)



3. 止まるまで下方に回します (図 K)





4. つまみネジを使い、一緒に締めて (図 L)



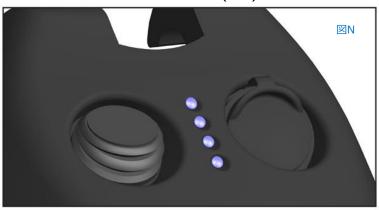
5. 駆動ユニットをアダプターバーに固定します (図 M)



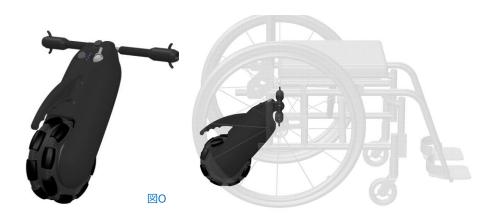


ドライブユニットの取付け

リストバンドのプッシュトラッカーの電源がオフになっていることを確認して、まずドライブユニットの電源を入れてから、クランプに取り付けてください。電源を入れるには、トグルをドライブユニットの正面から押します(図E)大きなビープ音が鳴り、青のLEDが点



スプリング付きエンドキャップは、突き出たアスクル先端部にはまります。スプリング付きエンドキャップは、圧縮すれば隙間をあけることができ、離せば車軸先端部の上で止まります (図 O)バネの弾性力が常に外向きに作用し、アダプターバーが車いすから外れるのを防止します。取り外したい場合には、エンドキャップを圧縮してください。アダプターバー/駆動ユニットが外れます。



ボタンを購入した場合は、それぞれの取り付け手順を参照してください。ボタンのコードの先端をドライブユニット電源ボタンの横にあるユニットハウジングに差し込んで下さい。 ハウジングは磁気コネクターになっています(図P)。





Rev. MX2 IN-C

折りたたみ車いす用のインサート

インサートの取付け

アクスルが出っ張ていない, アクスルに取り付けられないなど、何らかの理由でアダプターバーのエンドキャップが車いすに取り付けられない場合には、付属のインサートを使用する必要があります。

取付ける際には、アクスルにできるだけ近くて同じ高さのボルト等を選んで使用するようにしてください。

右図を参考に、取り付けるボルトに適した大きさのインサートを選びエンドキャップに付属のネジで固定します。

インサート	インサート直径	取付け位置イメージ
	内径 約10mm (約0.39インチ)	a de la constantina della cons
	内径 約17mm (約0.67インチ) 内径 約20mm (約0.79インチ)	B B B B B B B B B B B B B B B B B B B
	内径 約22mm (約0.86インチ)	
	内径 約25mm (約1インチ)	
	内径 約32mm (約1.25インチ)	40
インサートなし	内径 約13mm (約0.5インチ)	